

弘前れんが倉庫美術館 館長に三上雅通

特別館長補佐に南條史生が決定

2020年4月1日付けで、弘前れんが倉庫美術館の館長に三上 雅通が就任いたしますのでお知らせします。
また同館の特別館長補佐に森美術館特別顧問の南條史生が就任します。

弘前れんが倉庫美術館 館長

三上 雅通 (みかみ まさみち)

| 略歴：

1949年弘前市生まれ。弁護士（青森県弁護士会登録）。

1992年から2005年まで「中世の里なみおか映画祭」ディレクターを務める。

1997年に青森県立美術館建設検討委員会委員に就任（～1998年）。

2002年に、弘前れんが倉庫美術館に改修される前の吉井酒造煉瓦倉庫において開催された奈良美智展「I DON'T MIND,IF YOU FORGET ME.」に発起人及び広報担当委員として参加。翌2003年に、同展の収益を原資に設立された特定非営利活動法人 harappa 理事長に就任。その後も、同倉庫で開催された二つの奈良美智展「Form the Depth of My Drawer」（2006年）、「YOSHITOMO NARA+graf AtoZ」（2007年）に実行委員として参加。

2004年に青森県立美術館の開館に向けて設置された「あおり芸術研究会議」委員（議長）に就任し、2005年には青森県立美術館開館記念展「シャガール展」実行委員会委員に就任。

2015年に、美術館開設を中心とする吉野町緑地周辺整備事業（弘前市）において、弘前市吉野町煉瓦倉庫・緑地整備検討委員会委員に就任し、(仮称)吉野町文化交流拠点基本計画書の策定に携わる。

弘前れんが倉庫美術館 特別館長補佐

南條 史生 (なんじょう ふみお)

| 略歴：

森美術館特別顧問、エヌ・アンド・エー代表取締役。1949年東京都生まれ。慶應義塾大学経済学部、文学部哲学科美学美術史学専攻卒業。国際交流基金（1978～1986）などを経て2002年より森美術館副館長、2006年～2019年まで森美術館館長を務めた。過去にヴェニス・ビエンナーレ日本館（1997年）および台北ビエンナーレ（1998）コミッショナー、ターナープライズ審査委員（ロンドン、1998）、横浜トリエンナーレ（2001）、シンガポール・ビエンナーレ（2006、2008）アーティスティックディレクター、茨城県北芸術祭総合ディレクター（2016）、ホノルル・ビエンナーレ キュラトリアルディレクター（2017）などを歴任。著書に『疾走するアジア——現代美術の今を見る』（美術年鑑社、2010）、『アートを生きる』（角川書店、2012）がある。